

科目コード	N204
授業科目名	保健統計学基礎
授業科目名(英文)	Health Statistics (Basic course)
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学年	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	八谷百合子
授業の概要	保健統計学の概念と方法を理解し、知識や計算方法の修得を通じて、疫学や公衆衛生学における保健統計学の役割について学ぶ。その上で、看護師および保健師は、科学的根拠に基づき地域保健を視野に入れた医療全般、産業保健学・産業看護学を行っていくために、保健統計学の知識は不可欠なものであることを学ぶ。その結果、対象の健康課題に対応するための基礎学力や専門的知識としての保健統計学を修得できる。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 保健統計資料の種類と特徴、活用方法について説明することができる。 2. データの特徴を記述する図表化と数値要約の方法を理解することができる。 3. 疫学における研究結果の評価法を理解し、基本的な計算方法を修得できる。 4. データの種類、尺度、散布度を理解し、基本的な計算方法を修得できる。 5. 統計学における推定と検定の考え方および方法を理解できる。 6. データの取扱い上の倫理的配慮事項を理解できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	定期試験(80%)、授業の取組および参加の姿勢(20%)で60点以上を合格とする。
教科書	①福富和夫、橋本修二著、「保健統計・疫学」最新版(南山堂)、ISBN978-4-525-05336-9、C3047 ②浅野嘉延著、「看護学生のための疫学・保健統計」最新版(南山堂)、ISBN978-4-525-05343-7、C3047
参考書	一般財団法人厚生労働統計協会編、厚生指針増刊「国民衛生の動向」最新版
その他	各項目を説明後、例題を各自解答する時間を設けるので、積極的に参加する受講者を望む。

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R4.11.14	月	Ⅲ	保健統計学とは、統計資料の見方、人口動態統計	講義	八谷 百合子		
				予習 教科書①、②の該当ページを読む。				
				復習 講義の内容の復習				
2	R4.11.21	月	Ⅱ	人口静態統計、保健統計調査、死因統計	講義	八谷 百合子		
				予習 教科書①、②の該当ページを読む。				
				復習 講義の内容の復習				
3	R4.11.21	月	Ⅲ	疫学研究について、相対危険、寄与危険	講義	八谷 百合子		
				予習 教科書②の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				
4	R4.11.28	月	Ⅱ	オッズ比、有病率、罹患率、発症率、死亡率、致命率、指標の相互関係、疾病予防と指標の変化	講義	八谷 百合子		
				予習 教科書②の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				
5	R4.12.5	月	Ⅱ	死亡率の年齢調整(直接法・間接法)、スクリーニング	講義	八谷 百合子		
				予習 教科書②の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				
6	R4.12.12	月	Ⅱ	データの種類と尺度、データの代表値、データの散布度、正規分布と特徴、基準値と偏差値、相関係数と回帰係数	講義	八谷 百合子		
				予習 教科書②の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				
7	R4.12.19	月	Ⅱ	推定の考え方、検定の考え方、カイ二乗検定、 $t$ 検定	講義	八谷 百合子		
				予習 教科書②の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				
8	R5.1.16	月	Ⅱ	主な感染症の疫学と統計調査	講義	八谷 百合子		
				予習 教科書②の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				